

# よぼうせつしゅせつめいしょ しょうにようはいえんきゅうきんよぼうせつしゅ 予防接種説明書【小児用肺炎球菌予防接種】

れいわねんがつげんざい  
令和6年10月現在

## 1 病気の概要

はいえんきゅうきんかんせんしょう はいえんきゅうきん さいきん ひ お びょうき きん しゅうだん  
肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、集団  
せいかつ はじ こ も おも きどう ぶんびつづつ かんせん  
生活が始まるとほとんどの子どもが持っているといわれるもので、主に気道の分泌物により感染を  
お こします。これらの菌が何らかのきっかけで進展することで、肺炎や中耳炎、髄膜炎などの重い  
がつべいしょう お  
合併症を起こすことがあります。

とく ずいまくえん ばあい こ な なんちよう せいしん はつたつちたい しし  
特に、髄膜炎をきたした場合には2%の子どもが亡くなり、10%に難聴、精神の発達遅滞、四肢  
まひ こ ういしょう のこ  
の麻痺、てんかんなどの後遺症を残すといわれています。

また、小さい子どもほど発症しやすく、特に0歳児でのリスクが高いとされています。

## 2 ワクチンの効果

はいえんきゅうきん いじょう しゅるい  
肺炎球菌には、90以上の種類があり、PCV15はそのうち15種類、PCV20は  
しゅるい はいえんきゅうきん たい よぼうこうか  
20種類の肺炎球菌に対して予防効果があります。

しょうに はいえんきゅうきん しんしゅうせいはいえんきゅうきんかんせんしょう はいえんきゅうきん ていきせつしゅなど  
小児の肺炎球菌による侵襲性肺炎球菌感染症（※）は、肺炎球菌ワクチンの定期接種等  
じっし いぜん ねん まんにん さいみまん やく にん  
が実施される以前の2008～2010年は10万人（5歳未満）あたり約24～26人が  
りかん  
罹患していましたが、2022年には、約4.8人と、約8割の患者数の減少がみられています。  
しんしゅうせいかんせんしょう ほんらい きん そんざい けつえき ずいえき かんせつえき きん けんしゅつ かんせんしょう  
※侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことです。

## 3 使用するワクチン

ねん がついこう げんそく ちんこう かはいえんきゅうきんけつごうがた しょう  
2024年10月以降、原則として沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）を使用します。  
ちんこう かはいえんきゅうきんけつごうがた しょうかのう  
沈降15価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV15）も使用可能です。  
ちんこう かはいえんきゅうきんけつごうがた せつしゅ かいし かた げんそく  
沈降15価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV15）で接種を開始した方は、原則としてPCV15  
すべ せつしゅ おこな  
で全ての接種を行ってください。

## 4 接種の対象者とスケジュール

ちんこう かはいえんきゅうきんけつごうがた ちんこう かはいえんきゅうきんけつごうがた  
沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）および沈降15価肺炎球菌結合型ワクチン（PC  
V15）の接種スケジュールは、以下のようなスケジュールで実施します。

(1)が標準的なスケジュールです。

なお、細かいルール等の詳細については母子健康手帳、自治体または接種を受ける医療機関に確認  
してください。

### (1) 初回接種開始時に生後2～7か月のお子さん

しょかいせつしゅ せいご げつ せつしゅ かいし げつ かいせつしゅ  
初回接種：生後2か月から接種を開始し、およそ1か月おきに3回接種します。

ついかせつしゅ しょかいせつしゅ お あと さいご せつしゅ にちいじょう うえ せいご  
追加接種：初回接種が終わった後、最後の接種から60日以上あけた上で、生後12か月以降  
かいせつしゅ  
に1回接種します。

### (2) 初回接種開始時に生後7～12か月のお子さん

しょかいせつしゅ せいご げつ かいせつしゅ  
初回接種：およそ1か月おきに2回接種します。

ついかせつしゅ しょかいせつしゅ お あと さいご せつしゅ にちいじょう うえ せいご  
追加接種：初回接種が終わった後、最後の接種から60日以上あけた上で、生後12か月以降  
かいせつしゅ  
に1回接種します。

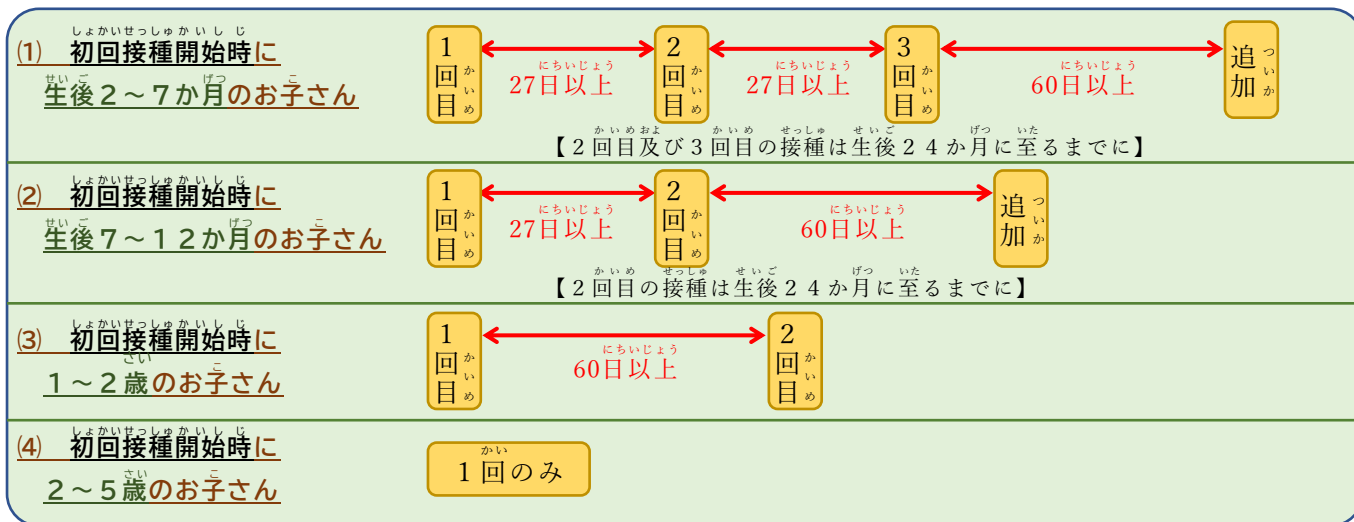
### (3) 初回接種開始時に1～2歳のお子さん

しょかいせつしゅ かいし さい  
60日以上の間隔をあけて2回接種します。

### (4) 初回接種開始時に2～5歳のお子さん

かいせつしゅ  
1回接種します。

【裏面もご覧ください】



### 5 ワクチンの安全性

沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）において、稀に報告される重い副反応として、ショック、アナフィラキシー、けいれん、血小板減少性紫斑病があります。

### 6 接種を受けられない方

以下の方は、接種を受けることができません。

- \* すでに肺炎球菌ワクチンの接種を完了した方
  - \* 肺炎球菌ワクチンの成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
- また、以下のような場合は接種を受けることができませんので、治ってから受けるようにしてください。
- \* 発熱している。
  - \* 重篤な急性疾患にかかっている。

### 7 接種に注意が必要な方

以下の方は、接種にあたって注意が必要なので、あらかじめ医師に相談してください。

- \* 心臓、腎臓、肝臓、血液の病気や発育障害がある方
- \* これまでに、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方
- \* けいれんを起こしたことがある方
- \* 免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- \* 肺炎球菌ワクチンの成分でアレルギーを起こすおそれのある方

### 8 健康被害救済制度

定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要な場合や生活が不自由になった場合（健康被害）は、法律に定められた救済制度（健康被害救済制度）があります。田川市民の方で制度の利用を申し込むときは、田川市保健センターにご相談ください。（制度利用には、一定の条件有り）

（参考）

<p>厚生労働省 予防接種・ ワクチン情報</p>	<p>厚生労働省 予防接種健康 被害救済制度</p>	<p>田川市 予防接種の ご案内</p>	<p>福岡県内 予防接種 担当課</p>
-----------------------------------	------------------------------------	------------------------------	------------------------------

【問い合わせ先】 予防接種に関するご相談等は、住民票のある市区町村にご連絡下さい。

田川市福祉部保健福祉課保健センター TEL 0947-44-8270

※この説明書は、主に厚生労働省のHPを元として、田川市保健センターが作成しています。

【裏面もご覧ください】